

令和3年度 移動支援セミナー
徳島県那賀町実践報告 2021/11/9

生活支援団体による 移動支援の取り組み



大阪出身

那賀町6年目

THE 若者・バカ者・よそ者

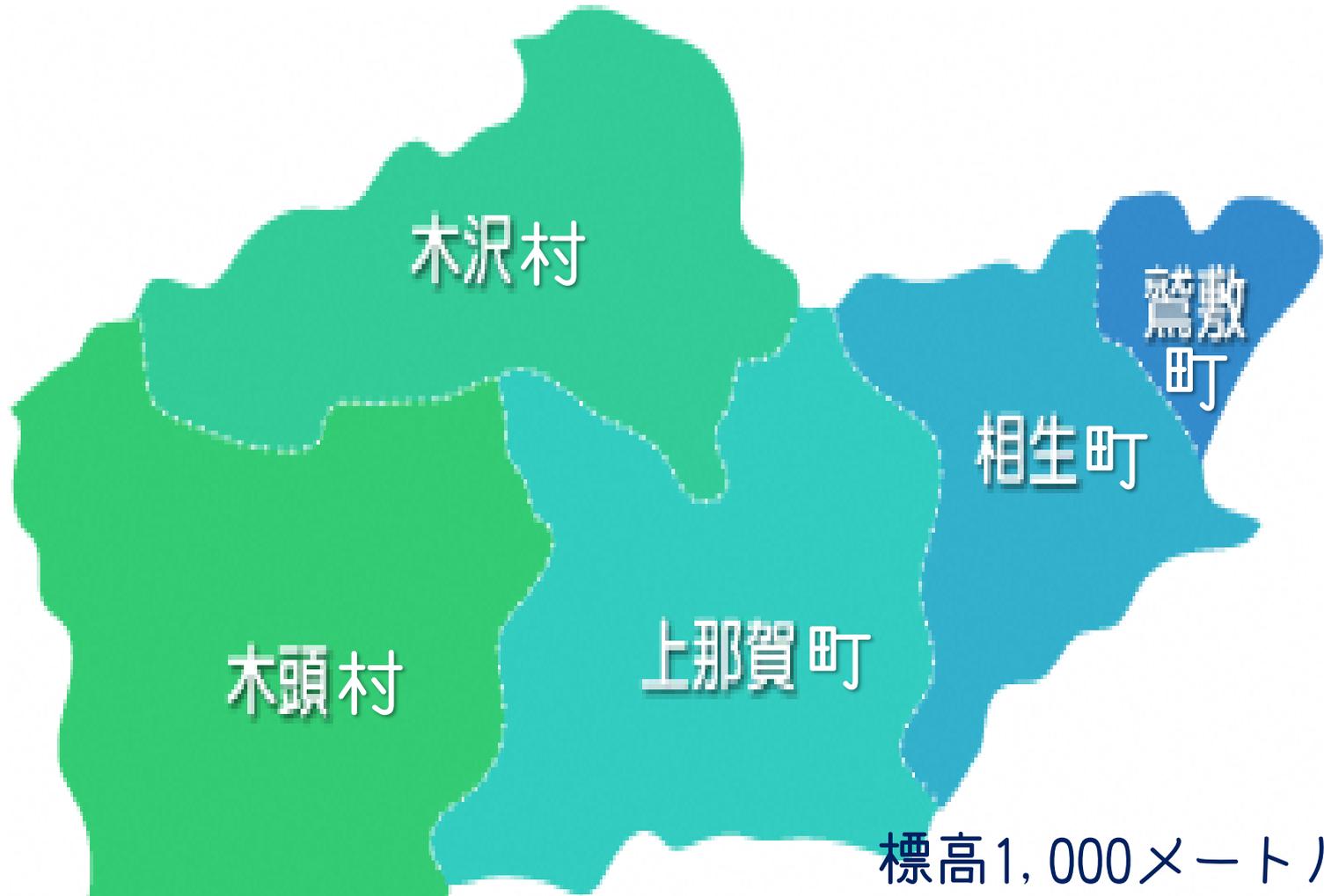
那賀町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 亀井 伸幸

photo@ kitade keiichi

徳島県 24市町村（8市15町1村）



平成17年に5つの町村が合併し那賀町が誕生



・ 平地に乏しく集落は点在しており、川沿いの狭い段丘が多い。

標高1,000メートル以上の山々に囲まれ、95%が森林、居住面積5%の中山間地域

那賀町の概要

(令和3年9月末現在)

人口：7748人

65歳以上

3974人 51.29%

うち75歳以上

2311人 29.83%

要支援要介護認定者

913人 11.78%

18歳未満

716人 9.24%

地区	男	女	計	65歳以上人口	高齢化率
鷲敷	1,296	1,378	2,674	1,109	41.47
(前年同月)	1,308	1,417	2,725	1,124	41.25
相生	1,106	1,202	2,308	1,121	48.57
(前年同月)	1,124	1,244	2,368	1,125	47.51
上那賀	568	674	1,242	811	65.3
(前年同月)	599	703	1,302	837	64.29
木沢	226	239	465	310	66.67
(前年同月)	241	251	492	318	64.63
木頭	514	545	1,059	623	58.83
(前年同月)	522	553	1,075	624	58.05
合計	3,710	4,038	7,748	3,974	51.29
(前年同月)	3,794	4,168	7,962	4,028	50.59

これからは



徳島県

徳島大学

協議体3つのテーマ決定！

「那賀町元気な地域づくりネットワーク会」は
町全域の3つ共通課題を住民主体で考え、

支えあいの輪を広げます！

1. 居場所・つどいの場の拡充支援

2. 暮らしのちょっとした困りごと 解決のしくみづくり

3. 買い物支援や地域の 移動手段のしくみづくり

家事支援一体型の
車両を使用した生活支援



ふだんのくらしの ちょっとした困りごとアンケート 内容（一部抜粋）

ふだんの暮らしのちょっとした困りごとについて住民同士の助け合いのしくみが必要だと思いますか？

選択項目	人数	構成比
思う	53	66.3%
やや思う	13	16.3%
あまり思わない	2	2.5%
思わない	3	3.8%
わからない	3	3.8%
無回答	6	7.5%
合計	80	100.0%

助け合いのしくみが必要 **82.6%**

助け合いの担い手になっても良い **68.8%**

地域助け合い型の送迎サービスが必要 **47.6%**

ふだんの暮らしのちょっとした困りごとについて、自分が無理なくできる範囲で助け合いの担い手になっても良いと思いますか？

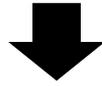
選択項目	人数	構成比
思う	33	41.3%
やや思う	18	22.5%
あまり思わない	5	6.3%
思わない	2	2.5%
わからない	13	16.3%
無回答	9	11.3%
合計	80	100.0%

ガソリン代などの実費程度の費用負担で、買い物・通院・各種会合や集まり・銀行・墓参りなど日常的な移動について、地域助け合い型の送迎サービスがあれば利用したいですか？

選択項目	人数	構成比
思う	25	31.3%
やや思う	13	16.3%
あまり思わない	9	11.3%
思わない	10	12.5%
わからない	14	17.5%
無回答	9	11.3%
合計	80	100.0%

普段のくらしの困りごとと20項目の回答ランキング

3択（困っている・近い将来困りそう・困っていない、困らない）



山林田畑などの環境維持（山林間伐・草刈りなど）	76%
屋外の掃除、片づけ、簡単な補修	65%
移動に関すること （例：買い物・通院薬局・会や集まり・銀行・墓参りなど）	65%
布団干し	64%
地域の会や出役の代行	63%
公共機関での手続きや必要な書類などの確認	61%
買い物に関すること （例：付添い・購入依頼・自宅までの運搬など）	60%
庭の手入れ（花木の水やり、草抜き、刈こみなど）	59%
自宅内の窓ふき、掃除、片づけ、簡単な補修	58%
電球（灯）やクーラーのフィルターなど高所交換	56%

日々の見守りや安否確認（一人で過ごす不安や心配）、病気の時の看病など	56%
食事に関すること （例：食材購入・下ごしらえ・調理・片づけなど）	56%
話し相手	54%
お墓の掃除	54%
電気機器などの操作方法の確認や相談	54%
ゴミ出しに関すること（例：分別・捨て場への運搬など）	54%
雨戸の開け閉め	51%
近所の人と交流できる機会やつどいの場所がない または行けない	48%
サークル活動や趣味、好きなことなどの集まりがない または行けない	40%
預貯金や所有資産などの管理	7 38%

2021. 2. 18

大阪太子町社協オンライン講演会 総合事業D型サービスについて



徳島新聞 2021年03月04日 木曜日 面名 地域1 第1版 25ページ

高齢者の移送支援学ぶ

介護保険活用 那賀で講演会



介護保険を活用した高齢者の移送支援サービスを学ぶ住民—那賀町阿井の阿井公民館

那賀町の住民有志や介護事業者らでつくる「町生活支援体制整備事業住民協議会」が、同町阿井の阿井公民館などで、介護保険を活用した高齢者の移送支援サービスを学ぶ講演会を開いた。

ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を通じて2月18日に開催。阿井公民館には12人が参加した。大阪府太子町社会福祉協議会の吉高賢司生活支援コーディネーターが、移送支援サービスの行っている太子町の例を挙げ、「道路運送法上の許可や登録が不要な移送支援の形態もあるので、まず運輸局へ相談を」と呼び掛けた。

高齢者支援を目的としたグループ「結」を昨年発足させた同町阿井の青木紀男さん(76)は「町や公共交通と連携し、高齢者を地域で支えていきたいという思いが強くなった」と話した。

(棚野将式)

(C)徳島新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

2021. 2. 28

四国地区移動サービスネットワーク オンライン交流学習会



このプログラムは「マツダ・移動支援団体応援プログラム」の助成を受けて実施します

第11回 四国地区移動サービスネットワーク 交流学習会

四国地区での交流会は11回目を迎え、今回は新型コロナウイルスの感染予防のためリモートで開催することになりました。

高齢者や障がい者等が地域で安心して生活を送るため、買物や通院など移動・外出のための交通手段や不足している担い手の確保は緊急の課題となっており、

そうした状況に対し、住民が主体となって地域に根ざした移動・外出支援の仕組みをどう構築するのか模索している方がたの情報共有の機会としてこの交流学習会を企画いたしました。

移動課題を解決したいと思っている方の参加をお待ちしています。

☆ 令和3年2月28日(日)
13:00~16:00

- ☆ オンラインZOOMにて開催
パスワードは別途お知らせします。
 - ☆ 申込締切り: 2月24日
 - ☆ 申込方法: 下記の情報をメールにてお申込みください。
- ① お名前
 - ② 団体名(個人の場合は不要)
 - ③ ご住所
 - ④ メールアドレス
 - ⑤ 電話番号
 - ⑥ 所属や役職

プログラム

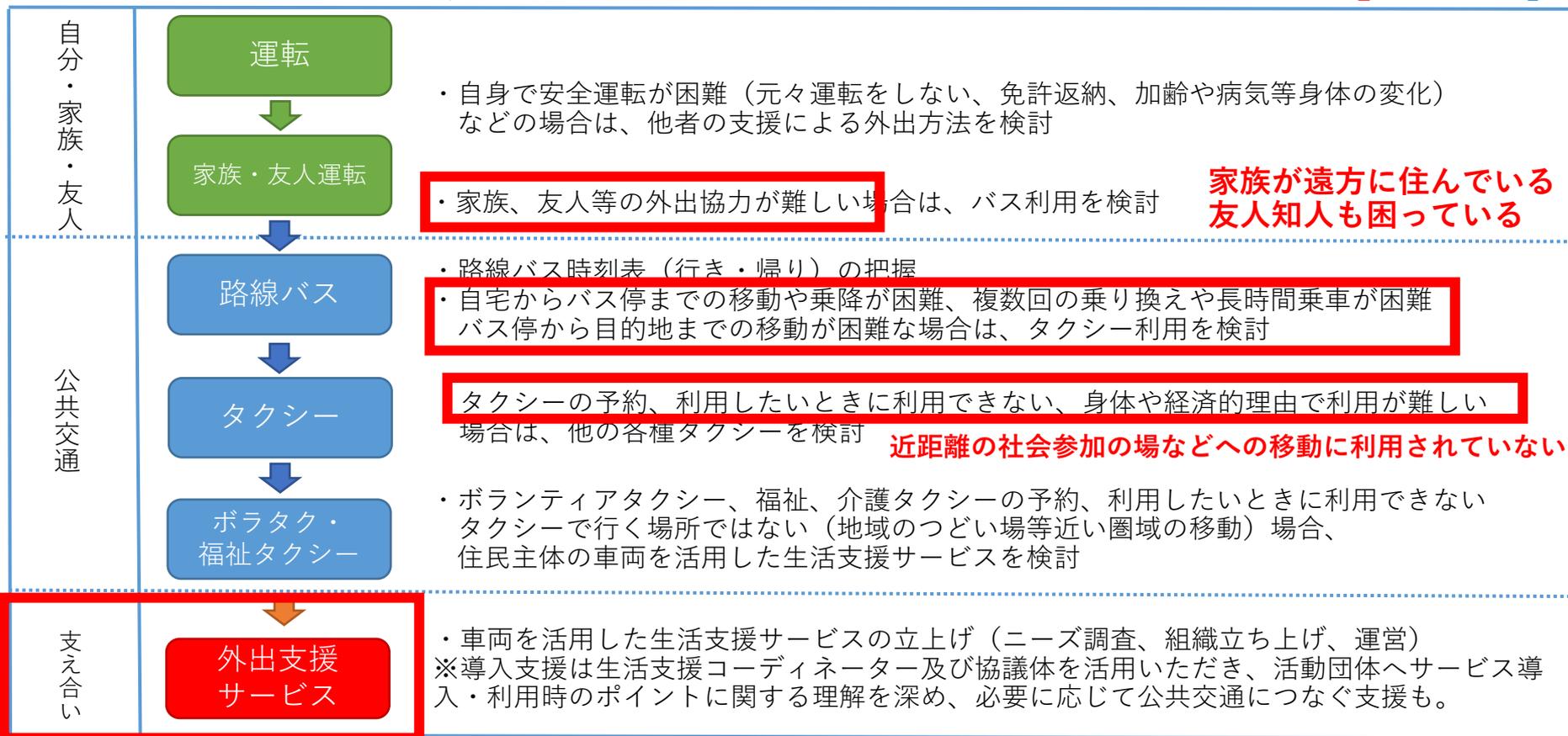
- 13:00~13:05(5分)
☆開会の挨拶 菅井 則男(NPO法人 地域教育福祉会・花さき山 理事長)
- 13:05~14:15(75分) 各15分
☆四国各県の活動報告 NPO法人 全国移動サービスネットワーク
香川県(五井 則男)・愛媛県(武田 行雄)
徳島県(亀井 伸幸)・高知県(永井 美保)・高知県四万十町(中平 由起子)
- 14:15~14:25(10分) 休憩
- 14:25~15:10(45分)
☆聞きたい! 知りたい! 移動支援の悩みごと!
参加者の皆さん
- 15:10~15:50(40分)
☆立ち上げ? 運営? 何でも答えます!
横山 和廣氏(NPO法人 全国移動サービスネットワーク 副理事長)
伊藤みどり氏(NPO法人 全国移動サービスネットワーク 事務局長)
- 15:50~16:00(10分)
☆次回の企画は何か? 進行: 亀井 伸幸(徳島県)



主催: NPO法人 地域教育福祉会・花さき山
共催: 四国地区移動サービスネットワーク / NPO法人 全国移動サービスネットワーク
お申し込み・お問い合わせ先: NPO法人 地域サポートの会 さわやか高知 (担当: 永井)
TEL: 088-821-0560 ・ FAX: 088-821-0780 ・ E-mail: sawayakatouchi@npo.ne.jp
*申込にて取得した個人情報は、適切に管理し、本交流学習会以外の用途では使用いたしません。

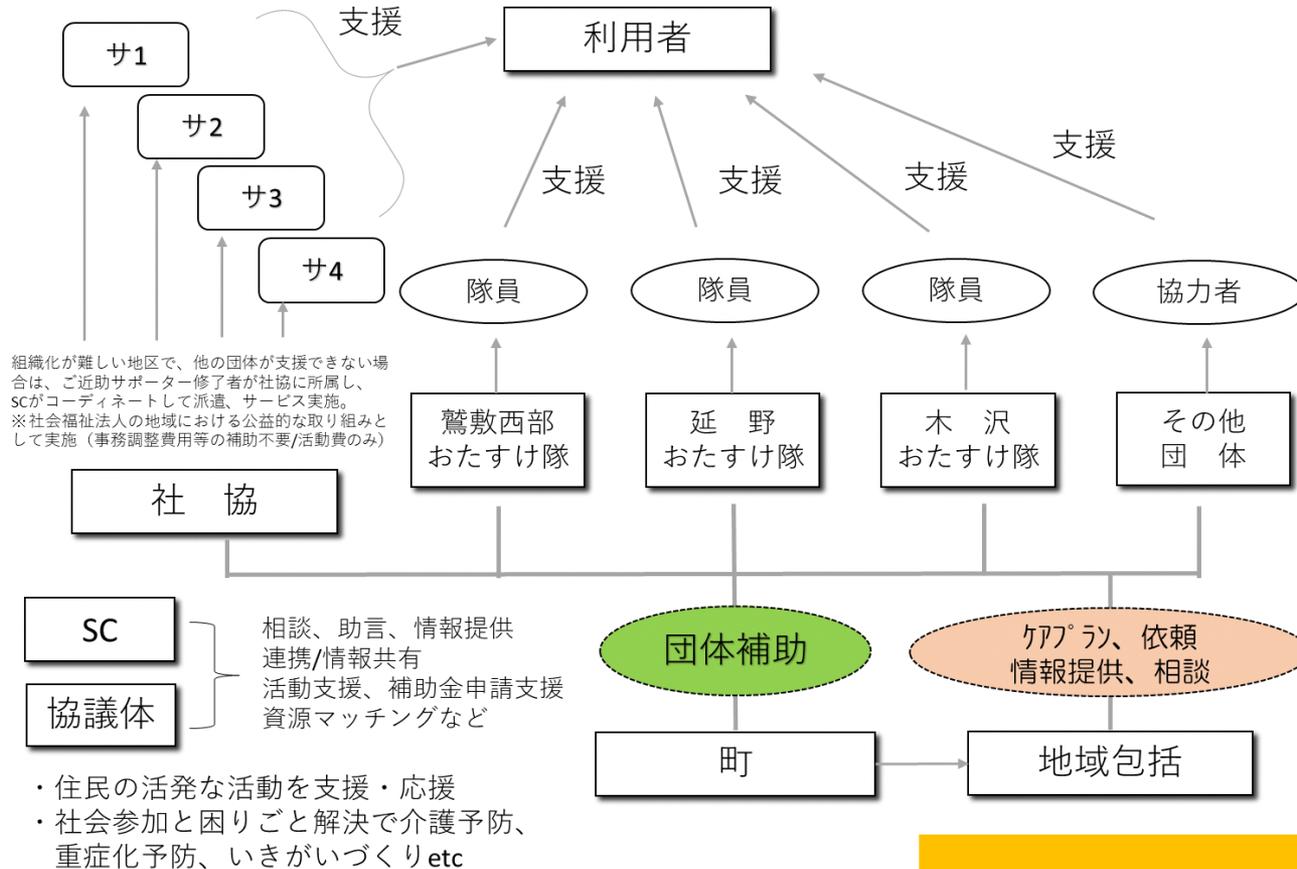
車両を活用した生活支援（日常生活上必要不可欠な外出）サービス優先順位の考え方

基本理念：「交通手段の確保ができない為に、生活（買物・通院等）に支障をきたす、高齢者の在宅生活の継続・自立支援の為に生活支援『外出』サービス」



令和4年度施行(案)

訪問型B(家事援助一体型)生活支援団体補助事業



生活支援団体補助事業の主たる目的
利用者・担い手双方の

介護予防・社会参加！！

B型・D型は要支援者等個人に対するサービスの提供ではなく、団体に対して補助を行う事業

土協
イフ
ま
愛団体は
サービス補償（団体負担）

取り組みの上で大切にしていること 福祉/那賀町社会福祉協議会とは

ふ…ふだんの（ふつうの）
く…くらしの
し…しあわせ



那賀町…那賀町に住む
社会…みんなの
福祉…普段の（普通の）暮らしの幸せを
協議会…集まって相談するまとまり（組織）

「いつまでも ふるさとで すこやかに」
暮らしすこやがしあわせ！を応援するのが亀井ミッション！！

大切にしている伝え方

生活支援体制整備事業/SC/協議体とは

生活支援体制整備事業

「いつまでも ふるさとで すこやかに」を合言葉に、現代の制度も活用しながら、古き良きお互い様精神や助けあい文化の復興と捉え、自分たちの地域は自分たちで良くしようという住民主体の地域づくり活動。

生活支援コーディネーター

住民、行政、民間など他団体、多職種と連携を図り、地域にちりばめられた、地域づくりのパーツをつないで「支えあいのしくみ」の構築を目指す、つなぐ専門職です。「お節介」と「安請け合い」で元気な地域づくりをめっちゃくっちゃ応援します。

協議体「那賀町元気な地域づくりネットワーク」

地域の「困ったなあ」のつぶやきを拾いあげ、生活支援コーディネーターと共に生活支援のしくみ構築して住民の活躍推進や元気な地域づくり一緒に考えるチーム。また、同じ立場の住民へ「輝きのバトン」を繋いだり、「支えあいの輪」を拡げる同志の集まり。

質問・疑問・ご意見

那賀町社会福祉協議会

Tel: 0884-64-0026

nakasyakyo.kamei@gmail.com

亀井まで
ご連絡お願いいたします

